

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	生物基礎	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・衛生看護科
使用教科書	新編生物基礎（東京書籍）		副教材等	ニューサポート（東京書籍）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを旨とする。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 1節 生物の多様性 2節 生物の共通性 3節 細胞の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴について、生物の共通性と多様性のことを理解する。 生物の特徴について、生物の共通性と多様性を見いだして表現する。 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	
				○			
					○		
5	2章 生物とエネルギー 1節 生体とATP 2節 酵素の働き 3節 呼吸と光合成	<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴について、生物とエネルギーのことを理解する。 生物の特徴について、生物とエネルギーを見いだして表現する。 生物とエネルギーに関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解している。 生物とエネルギーについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 生物とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	定期考査 授業態度 レポート 授業ノート
				○			
					○		
6	2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 1節 生物と遺伝子 2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とDNAのことを理解する。 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 遺伝子とのはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解している。 遺伝情報とDNAについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	
				○			
					○		
7 8	2章 遺伝情報とタンパク質合成 1節 タンパク質 2節 タンパク質と遺伝情報 3節 細胞の分化と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解する。 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成との関係を見いだして表現する。 遺伝情報とタンパク質合成に関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 遺伝情報とタンパク質の合成について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	定期考査 授業態度 レポート 授業ノート
				○			
					○		

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ 1節 体内環境	<ul style="list-style-type: none"> 動物が体内環境をもち、外界からの影響を適切に調節していることを理解する。 恒常性により、体内環境が保たれていることを表現する。 体液の調節に関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			・体外環境と体内環境、体液の関係について理解している。	
				○		・体内環境の維持について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。	
					○	・体内環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
10	2節 神経系による情報伝達 3節 内分泌系による情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> 体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを表現する。 自律神経とホルモンの作用に関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			・神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	定期考査 授業態度 レポート 授業ノート
				○		・情報の伝達について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。	
					○	・情報の伝達に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
11 12	2章 免疫のはたらき 1節 免疫のしくみ 2節 免疫の応用 3節 免疫とさまざまな疾患	<ul style="list-style-type: none"> 免疫について、免疫のはたらきを理解する。 免疫について、観察、実験などを通して探究し、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして表現する。 免疫のはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			・免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解している。	定期考査 授業態度 レポート 授業ノート
				○		・免疫のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。	
					○	・免疫のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
1 2	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 1節 身のまわりの植生 2節 植生の遷移 3節 遷移とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> 植生と遷移について、植生と遷移のこを理解する。 植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、遷移の要因を見いだして表現する。 植生と遷移に関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			・植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	定期考査 授業態度 レポート 授業ノート
				○		・植生と遷移について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。	
					○	・植生と遷移に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
3	2章 生態系と生物の多様性 1節 生態系における生物の多様性 2節 生態系における生物間の関係 3節 生態系と人為的攪乱 4節 生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全のことを理解する。 生物の種多様性を見だすととともに、生態系のバランスと保全について表現する。 生態系とその保全に関する事物・現象に主体的にかかわる。 	○			・生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	定期考査 授業態度 レポート 授業ノート
				○		・生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。	
					○	・生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	